



コープネット稲刈りツアー

10月4日、関東甲信越の6生協が組織するコープネット事業連合(さいたま市)と加盟しているコープにいがたの組合員約50名と佐渡市・JA佐渡と市内の小学生等、佐渡市畑野地区の栗野江集落ほ場において募金贈呈式と稲刈り交流会が行われました。

コープネット事業連合と佐渡市は2010年に連携協定を締結し、佐渡コシヒカリの販売1kg1円で算出し、本年は240万円の寄付が佐渡市トキ環境整備基金に行われました。コープネットにいがたの小林昭三理事長より佐渡の甲斐市長に目録が手渡されると、甲斐市長からはこの取組みを感謝し、感謝状と記念品が贈られました。小林理事長が「トキ保護を通じて、この活動を全国に広げ、基金はトキと人が共存できる環境整備に使い、交流を通して、人と人の繋がりを大切にしたい」と話されました。

稲刈りツアーは、参加者全員が約7アールの田んぼで農協職員の指導を受けて手刈りし、約1時間で全て刈り取りました。その後、近くの田んぼで生き物調査を行い、刈取り後の田んぼにも生きものがいっぱいいる事を確認しました。



コンバイン体験の様子



生き物調査の様子

「我が家のおかず」—コリンキーのからし漬け

佐渡市新穂地区の主婦阿部愛子さんがお勧めの、生食用カボチャ「コリンキー」のからし漬けを紹介します。

- 材料:①コリンキー・ナス・キュウリ・・・1kg
②塩・・・40g ③砂糖・・・100g
④カラシ粉・・・25g

作り方:①野菜を同じ大きさに切り

②すべての材料と切った野菜を漬物用ポリ袋に入れ、そのまま良く混ぜて封をして冷蔵庫に入れる。一晩漬けて、シャキシャキのコリンキーが美味しく食べられます。もちろんご飯にも合いますよ。



トキ情報

9月26日に開始した第11回放鳥で、数日に分かれて18羽全てのトキが飛び立ちました。これで、自然界に棲息しているのは、今回放鳥の18羽を加えて148羽になります。



26年産米検査情報

10月17日現在、佐渡産コシヒカリの検査の状況については、1等米比率88.6%です。充実度・粒揃いは前年並みで、品質は平年よりやや良い。こしいぶきは、充実度・粒揃い共に前年よりやや劣るとい状況です。



今年5月田植えの応援



今年9月稲刈りの様子

米作りについては、会の代表橘さんによると「米は全量農協に出荷する。作業は基本別々に行っていますが、播種・育苗作業について一部共同化がなされています。条件の悪い圃場には応援に行く場合もある。月一回の勉強会で、佐渡市担当の方や農協の営農指導員を招いて、情報交換をしています。これからの不安は、米価が下がり、肥料農薬の値段が変わらないため、経営が苦しくなる。どんなことがあっても仲間たちが減栽培のおいしい米を作ろう、トキに踏まれても作るという強い意志を持っている。」と教えていただきました。

「農業を語る会」
佐渡金井地区の関根集落に、農業を熱心に取り組んでいる「農業を語る会」(以下「会」という)のみなさんを紹介いたします。
会発足のきっかけは約3年前に、地元の出身者が定年後佐渡に戻り、農業については何も分からないという、その方のために、集落の農家が月一回集まって、農業について勉強会を開き、仲間となり、現在の会が結成したそうです。会員は13名、各自経営で米の作付面積は約51ヘクタール、一番多い方は11・2ヘクタールで、お互い助け合いながら、農業をやっているという熱意で地元にとっては重要な役割を果たしている。



「農業を語る会」のみなさん